

税金 あれこれ

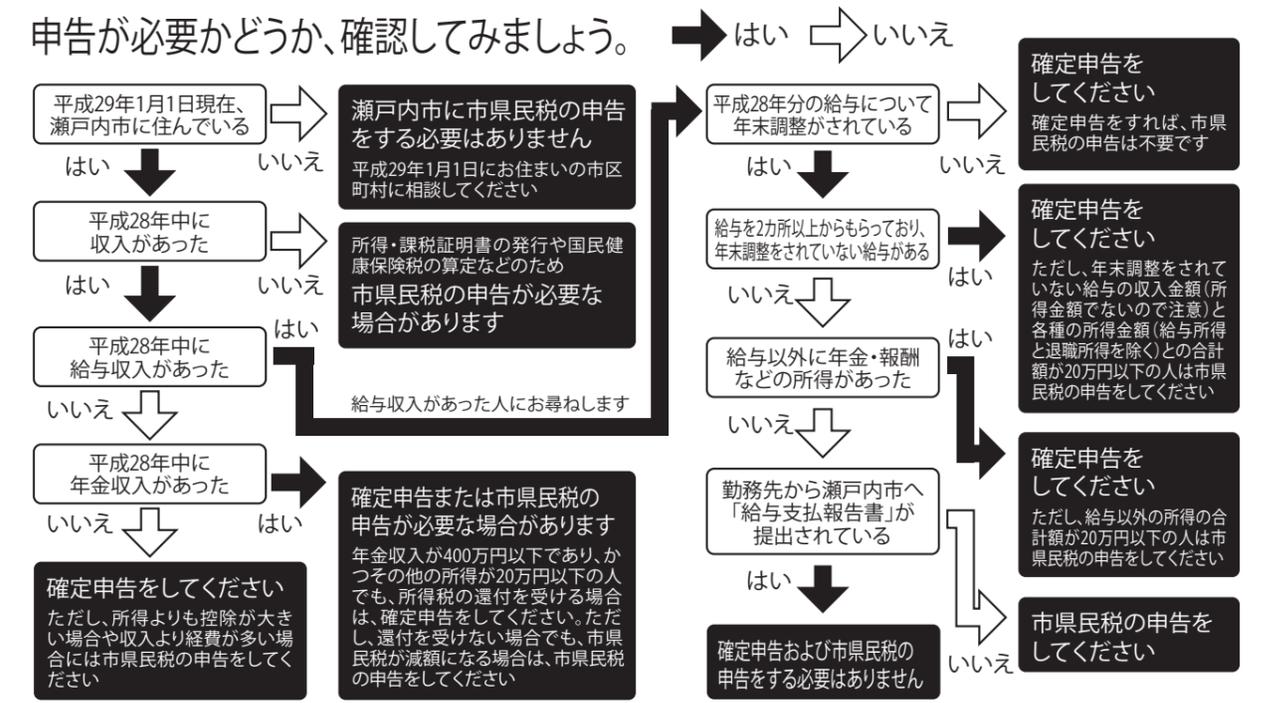
市県民税の申告についてなど、税金に関する情報を掲載しています。

市県民税 申告準備をお忘れなく！

市県民税の申告は、平成29年度の市県民税(個人住民税)を算定するための基礎資料となります。

また、市県民税の申告は、所得課税証明書を発行する場合や、国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の算定資料、国民年金保険料の免除申請などの各種手続きに必要となりますので、下図のフローチャートを参考に必要手続きをしてください。

国税務課
0869・22・1114



※このフローチャートは、一般的な事例です。ここに載っていない事例もありますので、詳しくはお問い合わせください。

平成28年分の申告から

マイナンバーの記載 + 本人確認書類の提示 または 写しの添付

詳しくは国税庁ホームページトップページ上段 をクリック

■国税庁 HP <http://www.nta.go.jp/mynumberinfo/>

が必要です！



巻之百二十四

【築山古墳】

岡山県立博物館 特別陳列 「東京国立博物館から里帰り！ 古代吉備の名宝」

岡山県内からかつて出土した考古資料の数多くが東京国立博物館に所蔵されています。このうち牛窓町鹿忍樋ヶ谷から出土した装飾付須恵器と、長船町西須恵に所在する築山古墳から出土した銅鏡が岡山に里帰りしています。

いずれも瀬戸内市の古代の繁栄を知ることができる貴重な資料です。ぜひ郷土の逸品をご自分の目で確かめてください。

今回里帰りした装飾付須恵器と、銅鏡が出土した築山古墳を紹介します。

【装飾付須恵器】



装飾付須恵器

装飾付須恵器は、1912(明治45)年以前に鹿忍樋ヶ谷で他の須恵器とともに出土した高さ約48cmの脚台付装飾壺です。形は、長方形のスカシ孔が4段、4列開けられた脚が付いた壺の肩につば状の縁が付いたられ、その上に小像と小壺が交互に配置されたものです。

場面は三つあり、一つ目が相撲をする2体の小像とそれを見る行司といわれている人物がいる場面。二つ目が女性と2対の像・猪・犬が配された、狩猟の一場面と推測される場面。三つ目が2体の馬が向かい合い、手綱を引いた人物が乗っている場面を表現したと推測され、古代のまつりの場面を知ることができ、注目される資料です。

築山古墳は、5世紀後半ごろ、広島山(長船町西須恵)の北西山麓に築かれた墳長82mの前方後円墳で、瀬戸内市を代表する古墳の一つです。

1987(昭和62)年に後円部西側の畑を試掘調査したところ、周濠があるのではないかと推測されていました。そして、1993年にその畑のさらに西側の畑を発掘調査したところ幅約7m、深さ約1mの濠が見つかり、二重の周濠が巡る前方後円墳であることが分かりました。

後円部の頂上には、阿蘇山の凝灰岩で造られた家形石棺が露出し、墳丘裾と墳頂部には、円筒埴輪が巡らされていました。

また、1907(明治40)年に行われた発掘で数多くの遺物が出土しています。今回展示される王氏作銘神人竜虎画像鏡一(のほかに、ガラス製勾玉一、碧玉製管玉一四、



築山古墳出土銅鏡

岡山県立博物館
086・272・1149

さらに詳しく知りたい人は、次の町史をご覧ください。

- ・牛窓町史『資料編Ⅱ』
- ・長船町史『史料編(上)』

▽展示期間 11月25日(金)～平成29年2月26日(日)

▽場所 岡山県立博物館 (岡山市北区後楽園1-5)

▽休館日 月曜日、年末(12月26日(月))、31日(土)

※ただし、1月2日(月・振休)、9日(月・祝)は開館、1月4日(水)、10日(火)は休館

▽入館料 一般250円、65歳以上120円(高校生以下は無料)